

学級活動学習指導案

日 時 令和6年10月15日（火）

第3校時

対 象 第4・5学年B2組8名

授業者 T1 加藤 ゆい

T2 中村 芙実子

会 場 みどり B2 組教室

1 単元名 みんなで楽しく遊ぼう

2 単元の目標

クラスみんなで楽しく遊ぶための遊びを考え、みんなで遊ぼう。

3 題材の評価規準

知識・技能	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて、理解している。
思考・判断・表現	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践していく。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に話し合いに参加し互いの意見を認め合うことを通して、仲間を大切にしながら活動に取り組もうとしている。

4 単元観

（1）児童観

みどり B 学級 3 組は、4・5年生のクラスであり、男子5名女子2名である。B 学級は自閉・情緒学級で、相手の気持ちを想像することが難しく、自分の思いだけで行動してしまい、休み時間などにトラブルが起こることがたびたびある。そのたびに教員が互いの話を聞き、整理して解決しているが、トラブルの原因がルールの思い違いによるものがほとんどである。昨年度まで話し合い活動を行うには人数が少ないことや、話し合うまでの人間関係ができていなかった。

1 学期には、クラス目標を話し合いにより決定した。目標を決める際には、教師が主導となり、児童の意見を聞きまとめていった。まずは、どんなクラスにしたいかキーワードを発表してもらい、そこからより良いと思うキーワードを意見を出し合い残していった。残ったキーワードから、文章を考えてもらい決定した。その際、自分の意見が伝えるのが難しい児童がいるのを子供たちが理解しており、最後にその児童の意見を聞き、クラス目標を決定していった。

また、休み時間には校庭に全員出ているがクラスの子供同士で遊ぶ子供と、自由に過ごしたい子供に分かれ、クラス全員で遊ぶ姿はほとんどない。そこで、自立活動の指導の際にクラスの全員で遊ぶ活動をした。授業内で実施することで、一緒に遊ぶことはできたが、内容は教師が決定しているため、児童が主体的に考えて実践していない。これらのことから、2 学期より児童が主体的に活動内容を決定し他者の意見を受け入れながら、活動内容を決定する学級活動を設定することとした。

（2）指導観

自閉・情緒学級では、話し合い活動が成立することが難しい。そのため、ペアでの相談活動や3人

までの話し合い活動にとどめてきた。しかし、1 学期の日直の取り組みの様子から、クラス全体の前に出て話したり、みんなの意見をまとめたりすることに意欲的に取り組む姿があった。話し合い活動を通して、その意欲を高めるために設定した。児童観にも記載したが、まだ、話し合い活動をしたことがない。まずは、教師が主導となり学級会の手本を示しその後児童が主体となって学級会を進めさせたい。その中で、他者の意見を受け入れることや自分の意見や気持ちに折り合いをつける経験を積みまていきたい。また、自立活動での指導と連携させ学級活動での遊びの幅を広げたい。

学級活動の中で、休み時間の遊びのルールを決定し楽しく遊ぶことを通して、友達との関わり方を学び、「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるように育成」していくという、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためとして、学習指導要領に記載されている目標を達成できると考える。

5 年間指導計画における位置付け（話し合い活動）

みどり学級では、年間指導計画の内容として、以下のように設定している。指導の順序や内容については、各学級の実態によってより良いものを担任が選び活動を行う。

- ・学級のルールを確認しよう ・自己紹介、友達の名前 ・図書館の使い方
- ・掃除、当番の仕事 ・みんなで遊ぼう ・みんなで話そう ・話し合い活動
- ・お楽しみ会をしよう ・一年を振り返ろう ・係活動

話し合い活動は、年間を通して様々な場面で実施している。トラブルになることが多いため、教師が主導となる場合が多いが、クラスの担任だけでなく、みどり学級の担任が状況によって話し合いの場を設定することがある。みどり学級担任として共有していることは、児童の話を受容すること。納得するように話し合いを行うことであり、放課後その話題について情報共有を行い、児童の実態を把握している。

6 単元の指導計画と評価計画（全4時間）

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価基準
1	○学級会のやり方を知ろう	・話し合いの進め方がわかるように、学級会マニュアルを作成し、児童が確認できるようにする。	・自分の考えをすすんで言う。（観察） ・友達の話をよく聞いて、友達の意見を大切にしようとしている。（発言・観察）
2	○学級会をやってみよう	・学級会マニュアルを見たり教師の助言を聞いたりしながら、教師と一緒に学級会を進めることができる。	・話し合いの進め方を理解している。（発言）
3	○学級会をやってみよう	・学級会マニュアルを見たり教師の助言を聞いたりしながら、	・学級会での意見の話し方や聞き方のルールを理解し

		学級会を進めることができる。	ている。(発言・観察) ・友達のことをよく聞いて、友達の意見を大切にしようとしている。(発言・観察)
4	○学級会をやってみよう	・学級会マニュアルを見たり教師の助言を聞いたりしながら、学級会を進めることができる。	・話し合いの進め方を理解している。(発言) ・友達のことをよく聞いて、友達の意見を大切にしようとしている。(発言・観察)

7 手立て

学級会の見通しがもてるよう、第1時では教師が主導となって学級会を行う。その後は教師と一緒に司会をやることで、学級会とはどのようなものか、どのように進めるかを学べるようにしたい。また、相手の気持ちを察したり理解したりすることが苦手なため、他者の心情等を理解しやすいように、役割を交代して相手の気持ちを考えたり、相手の意図を理解しやすい場面に置き換えたりすることや、視覚的に表したりする指導を取り入れる。

話を最後まで聞いて答えることが苦手なため、発言するタイミングが理解できるように、事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝えるなど、コミュニケーションの図り方についての指導を日常的に行っている。

8 本時の指導（全4時間中の第3時）

(1) 本時の目標 自分たちで話合って決められるものが学級会だと意識させる。

(2) 本時の展開

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1. はじめの言葉 2. 教師がする仕事内容の紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由の確認 5. 話し合いのめあての確認 6. 話し合い ①どんな遊びをするか ・出し合う時間 どんな遊びがよいか意見	議題 「みんなでなかよく遊ぼう」 ていあん理由 B3組のみんなで遊ぶことが少なく、自分たちで遊びを決めて遊ぶようにするため。 めあて ・静かに手をあげて発言しよう。 ・相手の話を最後まで聞こう。	【知識・理解】 ・話し合いの進め方を理解している。〈発言〉 ・学級会での意見の話し方や聞き方のルールを理解している。〈発言・観察〉

を出す。 ・比べ合う時間 その意見に対して、賛成や心配〈反対〉を出す。 ・まとめる時間 出された意見で心配なことがない、解消されたものを選ぶ。 7. 決まったことの発表 8. 振り返り 9. 終わりの言葉	◇議題、提案理由、話し合うことを確認させ、できるだけ理由も含め意見を言うように伝える。 ◇賛成（赤）・心配（青）意見などは視覚的にわかりやすいように色分けして表示する。 ◇児童の活動の様子（発言、行動、つぶやき等）を週末の助言で取り上げる。 ◇これからの実践への意欲付けを行う。	・自分の考えをすすんで言う。〈観察〉 ・友達の話をよく聞いて、友達の意見を大切にしようとしている。〈発言・観察〉
--	---	---

（３）本時の評価

- ・自分と異なる意見を受け入れ、クラスとして楽しく遊ぶための活動を考えることができる。
- ・めあてを意識して、話を聞いたり発言したりすることができる。